

2016年度 5年 年末年始 特別プログラム ≪「論理的に考えるチカラ」を磨く4日間≫ を実施しました

2016年12月30日～2017年1月2日の3泊4日、代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターで小学5年生を対象に、標題のプログラムを実施しました。以下、この特別プログラムについてお伝えします。

「論理的に考えるチカラ」を仲間とともに磨いていく！！

◆論理的に考える。

このプログラムの中心テーマです。日頃、子ども達は自分の「あたり前」のなかでコトバを使い、他者とやりとりをしがちです。その際子ども達は、相手に伝わっていると思い込んでいたことがうまく伝わらなかったり、相手の言っていることをうまく受け取れなかったりという経験をします。このプログラムでは、一見自由に思える他者とのやりとりは、実は案外不自由なものであることを知り、その不自由さを前提として他者と理解しあえるためには「論理的に考えるチカラ」が必要だということを体験的に理解していきます。「論理的ってなんだろう？」について自分がモヤモヤ・ワクワク・ドキドキしたことを、仲間とともに納得いくまで考える。そんな3泊4日間でした。



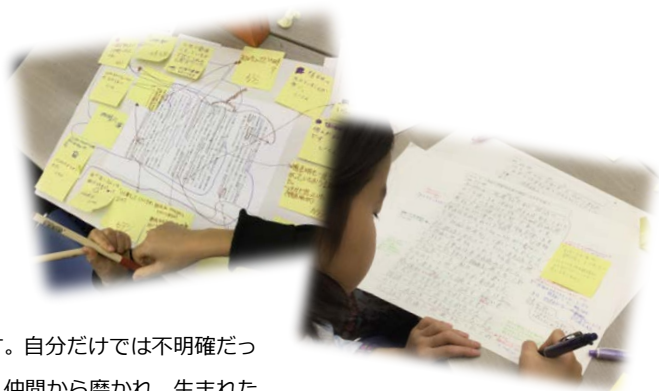
◆「思考技法」と親しむ・使う。

皆さんは、「思考技法」というコトバをお聞きになったことはありますか？日能研の中ではとてもよく使われているコトバですが、世の中にはまだまだ知られていないかもしれません。日能研では「考える技」ともいっていますが、子ども達が論理的に考えるために役立つ道具のひとつです。子ども達は、この道具を普段科目の中で使っているのですが、今回のプログラムの中では科目の枠を超えて使うというチャレンジをしました。そして、「日能研の子ども達が思考技法のことばにもっと親しめるゲームを作ろう」という思いのもと、6つのカードゲームを作りました。なかなかの完成度のももあり、大人も楽しめるようなゲームができあがりました。このような時間の中で、子ども達は「覚える」から「考える」へ——そしてその際に論理の有用性・おもしろさを感じていきました。



◆仲間と学ぶ。

このプログラムの素敵なおとりのひとつに「どっぶり仲間と学ぶ」というところがあります。まず、子ども達は自分を所有しているのは自分なのだ、という一見あたり前のことを意識するために自分に「名前」をつけます。名前をつけてはっきりとした一人ひとりがしっかりと自分の足で立って、仲間とともにアタマ・ココロ・カラダを目いっぱい動かしながら、課題に対する自分の考えを表現していきます。そのプロセスには一人ではなく、さまざまな仲間からのコメント（ピアレビュー）があります。自分だけでは不明確だった部分が、仲間のコメントによって深まり、はっきりします。その先には、仲間から磨かれ、生まれた新しい表現に——それは仲間とともに全力で「今」を過ごすからこそできることなのです。そんな仲間との間にあるのは、「自分を大切に、相手を大切に、仲間を大切に—これらを同時に」という1つの約束だけ。初めての仲間と共に過ごしたこの4日間は、子ども達のこれからの学びにとって大きな宝物になることでしょう。



<本件に関する問い合わせ先>

日能研本部 TEL : 045-473-2311 / FAX : 045-475-0544 / e-mail : pr@nichinokenco.jp